

●司法書士制度の発展を目指して！●

飛翔大会版

2016/6/10 発行

No. 3

発行：日本司法書士政治連盟

〒160-0003 東京都新宿区本塩町9番地3

発行人：田嶋 規由 編集人：安井 利国

TEL03-3359-0498 FAX03-5366-5310

ホームページアドレス：<http://www.ns-seiren.net/>

メールアドレス：office@ns-seiren.net

第46回定時大会開催

平成28年4月23日（土）午前10時、若葉が陽光に輝き眩しい東京は元赤坂の明治記念館に於いて標記大会が開催された。全国から参集した単位政連会長はじめとする構成員が会場を埋め尽くし、藤井・桑原両副幹事長の司会のもと第46回大会の幕が開かれた。

まず、司会者より来賓の紹介がおこなわれた。

岩城光英法務大臣

河村建夫司法書士制度推進議員連盟会長

塩崎恭久厚生労働大臣・司法書士制度推進議員連盟幹事長

漆原良夫公明党中央幹事会議長・司法書士制度推進議員

連盟会長代理

上川陽子自由民主党司法制度調査会会長

古川元久司法書士制度推進議員連盟副幹事長

大口善徳公明党国会対策委員長・司法書士制度推進議員連盟幹事

階猛司法書士制度推進議員連盟事務局次長



岩城光英 法務大臣

昨年一年間の物故者106名並びに熊本地震で亡くなられた方への黙祷がなされた。

開会の辞は三好副会長から、「早朝からの参集を謝し、熊本地震の被災者へのお見舞いとご逝去された方々のご家族に心中よりお悔やみを申し上げます。成年後見制度利用促進関連二法が可決成立しました。ご尽力いただいた議連の先生方に深くお礼申し上げます。本大会は、スローガンに掲げたとおり法律相談・懲戒制度等司法書士法改正に向けた熱い議論を期待する。」と述べた。

【田嶋会長挨拶要旨】

成年後見制度利用促進関連二法が可決成立した。本大会に先ず持って報告することができ大変うれしく思っている。

熊本地震発生し未だ余震が続き収束の見通しができない状況が続いている。被災地の復興・

支援の長期化が想定される。被災地からも光木会長・代議員が参集されたこと敬意を表する。日司連は、東日本大震災の教訓と経験を生かしながら支援体制の構築等整えている。日司政連も日司連と歩調を併せ確りと取り組んでまいりたい。

本日は、議連の要職に就かれておる先生方のご臨席いただいております。成年後見制度利用促進関連二法案は、5年5箇月を費やした運動であったが、議連の先生方のご尽力・ご支援がなければ到底成立しなかった。初めての議員立法での取り組みであったが日司連・リーガル・日司政連一糸乱れず全力で行動した成果でもあろう。

次は、念願である司法書士法改正である。今日まで平成21年1月20日の司法書士制度推進議員連盟の決議に基づき運動を展開してきたが、いよいよ来年の通常国会への的は絞られた。各単位政連にあつては、単位会と共に地元での議連の先生方への積極的な対応をお願いしたい。法改正へは、多くの先生方のご理解・ご支援が何よりも重要である。

本年は、参議院選挙が7月にある。司法書士制度に理解ある先生方の応援態勢を強化し取り組んでまいりたい。

本大会が司法書士法改正実現に向けての意志統一を諮り、不退転の決意を持って取り組む所存である。

来賓祝辞 （要旨）

【岩城光英法務大臣】

熊本地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げ、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。今なお地震が続いておりご心中お察し申し上げます。いち早い皆様方の被災者への支援活動に対し大変心強く感謝申し上げます。

私は、選挙区は福島ですが、5年前大変な経験をした。岩手、宮城、福島3県で今なお法律相談や支援活動をおこなっている皆様方に心からお礼申し上げます。

法務省では、国民に身近で頼りがいのある司法の実現に向けて取り組んでいるが、皆様方は市民の暮らしの中の法律家として貢献されていること改めてお礼申し上げます。140年以上の長い歴史と伝統ある司法書士制度の中にあつて、変革に的確に対応され登記の専門家として、我が国の経済取引の安定・発展に大きく寄与してこられた。

一層本格化する空き家問題の解消、所有者不明の土地問題の解決等専門家としての知見を生かしつつより積極的に未来に繋がる相続登記の推進に取り組むことが期待されている。

簡裁代理・成年後見等活躍の場が広がり国民のニーズに応えていることに敬意を表するとともに、国民に最も身近な法律の専門家として司法書士に対する社会の要請は益々高まっております。更に研鑽を積まれて大きく貢献され活躍されることを祈念申しあげます。

【河村建夫議連会長】

東日本大震災の復興支援の進んでいる中、予想だにしなかった熊本地震がおき、亡くなられた方々のご冥福と被災地の方々にお見舞い申し上げます。

本大会を控え何としても成年後見制度利用促進法成立に向け、司法書士の方々が大変な努力をされた。本日も各党の代表の方々が出席されているが、この超党派で構成された議連が法成立に向け大きな原動力となった。今後は具体的に認知症高齢者を抱える国民・社会の中にあって大きな第一歩を踏み出すことになり期待される場所である。

司法書士法改正等要望事項は、十分受け止めており司法書士の役割が高まっていく中で、しっかり国民に寄り添い法律相談が出来る身近な存在として活躍されるよう、議員連盟としても一体となって今後も活動してまいりたい。

【塩崎恭久厚労大臣】

成年後見制度は、野党時代に公明党の皆さんがいろいろご苦労され原案を立ち上げた。与党にカムバックしてからも党内・議員連盟の中で議論を続け、また自党内では田村憲久政調会長代理、盛山正仁法務部会長を中心に取り纏めた。

所管する児童福祉法改正の中で、民法の親権に対して、未成年後見・子供の権利を守る法改正を盛り込んでいる。親からの虐待から子供を守るこの制度は、県単位窓口で浸透しておらず利用が低調で後見料を含め公的にバックアップの必要がある。

簡裁の合意管轄、法律相談等司法書士制度改革の原点は司法制度改革にある、全国各地において国会議員を通じて運動を進めることが何よりの政治パワーに繋がる。

【漆原良夫議連会長代理】

国民に一番身近なところでリーガルサービスを提供していることに敬意を表す。

成年後見制度利用促進法は今国会での成立までに、会期中の成立は無理かと何度か危機感があったが、超党派の議連があったこと、法案に対して中心的役割を果たしてきた大口善徳議員が公明党国会対策委員長の要職にあったこと、議員立法であるから衆参両院での大口議員が答弁に終始したこと、河村会長の官邸対応・大臣折衝と国会運営の超過密スケジュール・隘路の中を縫って成立した。

あとは、長年の宿願である司法書士法改正である。相談業務における規制の撤廃、これは国民・依頼者のため勝ち取らなければならない。懲戒処分における司法書士自治権の確立のため是非とも改正しなければならない。

【上川陽子自民党司法制度調査会長】

成年後見制度利用促進法の成立を祝す大会でもある。長く議連のメンバーとして運動をしてきた一人として大変喜ばしく又今後更なる課題にむけて前進しなければならない。

法務大臣在任中は、様々な要請活動の中でお越しいただき、大変心強く任務にあたる事ができた。現在は自民党司法制度調査会長として、法務行政のサポート、国民の要請に対して取り組んでいる。法治国家として時代にあう基本法をつくり、現場の声を聞きながら法改正をする、これらを地層のように重ねながら築き上げてきた法治国家としての仕組みを海外の

途上国の国づくりに司法外交のテーマとしてさらに磨きをかけてまいりたい。

震災においては、自ら進んで日頃の現場の活動の中で全国ネットで即座に対応・行動する、こうした形態は他の国では類をみないのではないか。

本会場女性が少ないように見受けるが、女性活躍推進本部長も兼ねており女性の目線・視点での相談業務等ロールモデルを期待したい。

【古川元久議連副幹事長】

震災対応は与党も野党もない、5年前の東日本大震災では政権の座にあって大変想定外の様々な事態に対処するという経験をした。東日本大震災以降長期にわたり被災地でのサポートにあたられ改めて感謝申し上げるとともに熊本地震でも同様のご支援を願うものである。今般成立した成年後見制度利用促進法は、民主党政権当時に取り組み様々な経緯があつて5年5箇月を経て実現した。田嶋政治連盟会長、三河尻日司連会長はじめ役員方々等司法書士会の強い後押しで実現した。ご協力、ご尽力に心から敬意を表する。

懸案である司法書士法改正を迅速に実現をはからなければならない。士業法の改正はイデオロギーの対立があるわけではない、国民に利便性のあるリーガルサービスが提供できるよう司法制度全体の中での視点で捉えるべきで、与野党の幅広い合意の中で進めてまいりたい。

【階猛議連事務局次長】

私は岩手でありまして、5年前の大震災では全国の皆様方から沢山の物心両面にわたるご支援を頂き、私どもも何とかその時の恩返しをしなければと思っております。岩手も復興を続けておりますので、熊本同様よろしくお願いをいたします。

成年後見制度利用促進法は、障がい者、高齢者等弱い立場の方々にとって大きな支えを得たものと期待されます。ここに至る過程において、田嶋会長はじめ政治連盟の皆様粘り強く熱心なご支援が最大の推進力でありました。

来賓祝辞終了後、根本匠元復興大臣より「東日本大震災における住宅再建・復興まちづくりの加速化と司法書士」をテーマとした講演をいただいた。



引き続き大口善徳議員より、成年後見制度利用促進関連二法の成立を記念した講演が行われた。

大会は、議長の小澤徹（和歌山）副議長に大竹由美子（東京）を選出し熱心な討議がなされた。その結果、大会提出議案はすべて承認された。平成28年運動方針等の詳細については第46回大会要項を参照していただきたい。

参議院推薦候補者決定

去る平成28年6月4日（土）午後1時より司法書士会館5階会議室において日本司法書士政治連盟幹部会が開催され、参議院比例候補者について審議された。日本司法書士政治連盟は参議院比例区推薦候補者として下記のとおり決定した。

記

- | | | | |
|----------------|----|----|-----|
| 1、あだちまさし（阿達雅志） | 候補 | 現職 | 自民党 |
| 2、ふじすえ（藤末）健三 | 候補 | 現職 | 民進党 |
| 3、浜田まさよし（昌良） | 候補 | 現職 | 公明党 |

以上

なお、日本司法書士政治連盟の参議院選挙区推薦候補は下記のとおりです。

- | | | |
|----------------------|------|-----|
| 1、岩城光英（自民党）議連 | 法務大臣 | 福島県 |
| 2、小川敏夫（民進党）議連 | | 東京都 |
| 3、竹谷とし子（公明党）議連 | | 東京都 |
| 4、中川雅治（自民党）議連 | | 東京都 |
| 5、岡田広（自民党）議連 | | 茨城県 |
| 6、中曽根弘文（自民党）議連 | | 群馬県 |
| 7、高野剛（自民党）新人 | | 山梨県 |
| 8、若林健太（自民党）議連 | | 長野県 |
| 9、芝博一（民進党）議連 | | 三重県 |
| 10、渡辺猛之（自民党）議連 | | 岐阜県 |
| 11、山崎正昭（自民党）議連 | | 福井県 |
| 12、岡田直樹（自民党）議連 | | 石川県 |
| 13、石川ひろたか（博崇）（公明党）議連 | | 大阪府 |

14、尾立源幸（民進党）議連	大阪府
15、宮沢洋一（自民党）議連	広島県
16、青木一彦（自民党）現職	鳥取県・島根県
17、中西祐介（自民党）議連	徳島県・高知県
18、大家敏志（自民党）議連	福岡県
19、福岡資麿（自民党）議連	佐賀県
20、金子原二郎（自民党）議連	長崎県
21、松下新平（自民党）現職	宮崎県
22、島尻安伊子（自民党）議連	沖縄県

以上